

2024年5月16日

各位

会社名 株式会社 MCJ
代表者名 代表取締役社長兼 COO 安井 元康
(スタンダード市場 コード番号: 6670)
問合せ先 経営企画室 広報 IR 担当
ir-otoiawase@mcj.jp

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値の向上を図ることを目的として、当社取締役会全体の実効性に関する評価を行いましたので、その結果の概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

すべての取締役・監査役に対して、取締役会の実効性に関する評価の趣旨等を説明のうえ、質問票を配布し、全員からの回答により得られた結果に基づき、社外取締役及び社外監査役で構成される「諮問委員会」にて分析・評価を実施いたしました。

質問票の内容（大項目）

- ・ 取締役会の構成と運営
- ・ 経営戦略と事業戦略
- ・ 企業倫理とリスク管理
- ・ 業績モニタリングと経営陣（執行役員を含む）の評価・報酬
- ・ 株主等との対話

2. 評価結果の概要

当社取締役会は、取締役会の構成、取締役会の運営状況、社外役員を含む取締役会の十分な支援体制、株主を含めたステークホルダーとの関係等について確認した結果、現状における取締役会の実効性は十分に確保されていることを確認いたしました。

一方、当社取締役会の実効性をさらに高めるために取り組むべき課題として、諮問委員会より以下の提言を得ました。

- ・ 役員間のコミュニケーション手段について、社外役員ミーティングの再開や、会社理解のための都度の情報提供があり、一定の改善傾向にあるが、よりグループ各社の事業や ESG への取り組みを理解するうえでも、店舗やコールセンター、工場の視察や、ゼンどこ MCJ の森の見学等、前期に実施できなかった取り組みについて検討すること
- ・ MCJ 及びグループ各社におけるサクセッションプランや、人的資本経営に関する取り組みについて、その進展が見られるが、グループ間人材の交流や幹部候補者の育成等、未だ課題は多く、継続的な議論と対策を講じること
- ・ 非財務情報について、より具体的な方針と取り組みの開示が求められており、現在も一定の開示がなされているが、よりその質の向上と開示手段について検討すること

3. 今後の対応

当社取締役会は、以上の提言・評価結果等を踏まえ、より実効性の高い取締役会の実現に向けた改善を、不断の努力を以って推し進めてまいります。

以上